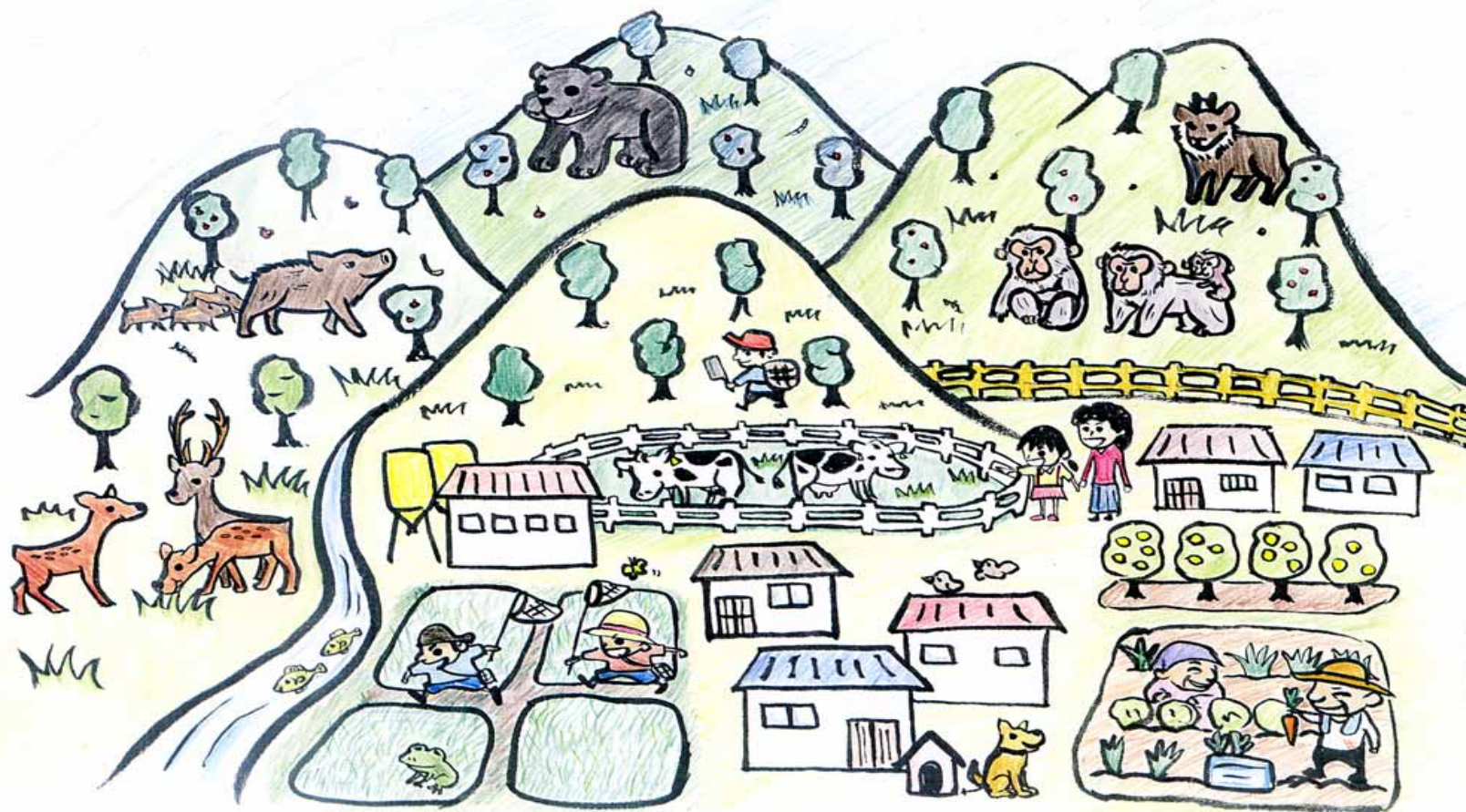


野生鳥獣被害防止マニュアル

- 生態と被害防止対策（基礎編） -

平成18年3月版



農林水産省生産局

イラスト：坂口裕佳

～ はじめに ～

近年、野生鳥獣による農林水産業被害は、過疎化、高齢化の進展等による耕作放棄地の増加や集落コミュニティの崩壊等に伴い、全国的に中山間地域を中心に深刻化しており、平成16年度の農作物被害金額は約206億円に上っております。

農林水産省においては、これまでも各地域の野生鳥獣による被害を防止するため、環境省や都道府県と連携し、効果的・効率的な防除技術の研究開発のほか、各地域における自衛体制づくりや電気柵などの被害防止施設の整備等の取組みを積極的に推進してきましたが、必ずしも被害が軽減されていない実態にあります。

今般、特に被害が深刻化しているイノシシ、シカ、サルについて、その生態行動と被害発生地域において取り組むことが期待される農作物等の被害防止対策について取りまとめましたので、現場における技術指導等に活用していただければ幸いです。

また、本マニュアルは初版として位置付けており、今後、鳥獣害対策の新たな知見等が蓄積されればそれらを踏まえ、必要に応じて順次マニュアルの充実に努めていきたいと考えております。

マニュアルの構成

～ はじめに ～

1 鳥獣被害の現状と要因

- (1) 鳥獣被害の現状
 - 全国の農作物被害
 - 全国の森林被害
- (2) 鳥獣による被害拡大の要因

2 獣種別対策

- (1) イノシシ基礎知識
 - イノシシの生態特性
 - イノシシの被害対策
- (2) ニホンジカ基礎知識
 - ニホンジカの生態特性
 - ニホンジカの被害対策
- (3) ニホンザル基礎知識
 - ニホンザルの生態特性
 - ニホンザルの被害対策

3 総合的な被害防止対策

- (1) 鳥獣害対策の基本的考え方
- (2) 個人でできる被害対策
- (3) 地域ぐるみの鳥獣害対策
- (4) 獣害対策における行政の役割

4 鳥獣の捕獲に関する制度

- (1) 特定鳥獣保護管理計画制度
- (2) 捕獲制度
- (3) 狩猟免許

5 その他

- (1) 農作物被害状況の把握
- (2) お問い合わせ先

～ おわりに ～